

海外短期留学合同報告会（医学部）を開催しました

11月15日、長井記念ホールにて、医学部学生による「海外短期留学合同報告会」を開催しました。

本報告会は、学生が海外の学術交流協定締結校への留学で体験したことを、教員や他の学生に報告することにより、学生の国際的視野を広げ、医学部の国際化を推進させることを目的として、昨年からは開催されています。

報告会では、テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター（米国）、ハノーバー医科大学（ドイツ）、ソウル国立大学校医学大学（韓国）、ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学（フィンランド）、慶北大学校（韓国）、モンゴル健康科学大学（モンゴル）への留学体験報告に加えて、ステューデント・ラボ（ライフ・イノベーションを推進できる医療人育成のための新たな基礎医学実習の構築）から10月末にロサンゼルスで開催されたAmerican Heart Association (AHA) の学会に出席した学生の報告も併せて行われました。

留学期間は、数日から1年までと様々ですが、留学先での研究の成果、異文化交流、英語でのコミュニケーションの大切さ等について貴重な体験が報告されました。また、AHAに出席した医学科4年の前田悠作君からは、学会会員の親睦を図るためにロサンゼルスで行われた5キロマラソンに出場し、優勝したことが報告されました。学業のみならず、国際交流の機会としても大変有意義なものとなりました。



報告会の様子



1位でゴールする前田君



報告を行った学生と玉置医学部長ら大学関係者